

LLブックとは

新潟リハビリテーション大学大学院 藤澤和子

1. LLブックとは

LLブックのLLとは、スウェーデン語の Lättläst の省略で、日本語では「やさしく読める」という意味です。LLブックとは、知的障害や自閉症、読み書き障害などの障害や高齢者、移住などにより居住する国と母語が違うなどの理由で、一般の書籍を読むことが難しい人たちに、読書の楽しみや必要な情報を与えるために、生活年齢の興味や関心に合う内容が、わかりやすく読みやすく書かれた本です。彼らが平等に読書や情報にアクセスできる権利を保障し、彼らの社会参加と豊かな生活の質の向上を目指しています。

LLブックは、1960年代から提唱されたノーマライゼーションの考え方に基づいて、スウェーデンで始まりました。ノーマライゼーションとは、「障害を持っていても、市民として平等に権利をもち、当たり前で普通の生活が送れる社会を実現する」という理念です。障害があっても、文字が読めなくても、すべての人が読書の機会をもつことは、民主主義や正義、平等思想を実現するために重要な課題という認識にたっています。スウェーデンでは国家予算で年間 30 冊の新刊 LLブックが出版され、図書館には必ず LLブックコーナーがあります。

2. 日本における LLブックの発展

日本では、1996年ころから全国手をつなぐ育成会連合会が知的障害者にわかりやすい『自立支援ハンドブックシリーズ』を出版しました。その後、スウェーデンの翻訳本等が数冊出版され、2009年に『LLブックを届ける-やさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』藤澤和子・服部敦司編著、読書工房.により、日本ではじめて「LLブック」という名称を使った解説書が出版されました。2015年頃 LLブックと名付けていない図書を含めてわかりやすく書かれた図書の出版は70冊程度でした。現在でも LLブックの出版数は大幅な増減はないと思われませんが、障害者差別解消法の成立により、LLブックを所蔵し排架する公共図書館は増加しています。LLブックは、全国手をつなぐ育成会連合会、樹村房、埼玉福祉会、S-プランニング等が出版しています。

3. わかりやすい表現

LLブックの基本的な表現方法を説明します。

(1)テキストは、わかりやすい文と文字を使う。

簡潔な短い文章、難しいことばは避け、できるだけ日常的によく使われる単語で表現する。大きめの文字で漢字にはルビをつける、文章はわかちがきで表記する。

(2)内容を表す写真、絵を使う。ピクトグラムも作品に応じて使用する。

(3)マルチメディア DAISY 等のように、音声と視覚情報を合わせて使う。

次に、3冊の LLブックを紹介します。

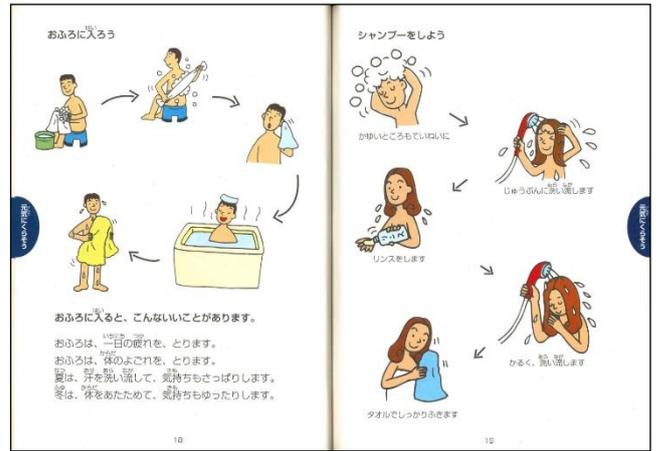
『美しくなりたいあなたへ』は、すべての女性にむけて美しく健康になる方法を写真とわかりやすい文で伝えています。

『すこやかハンドブック』は、知的障害のある人に健康で清潔に生活する方法を絵とわかりやすい文で伝えています。

『旅行にいこう!』は、写真だけで表現した4コママンガ風 LLブックです。家族旅行のエピソードを描いています。



『美しくなりたいあなたへ』
バーバラ・エナnder著
藤澤和子監修 寺尾三郎翻訳 埼玉福祉会



『すこやかハンドブック』
大阪精神薄弱者愛護協会
(現、一般社団法人大阪知的障害者福祉協会)



『旅行にいこう!』『ねぞう編』 藤澤和子・川崎千加・多賀谷津也子・小安展子 樹村房

4. LL マンガとは

LL マンガは、LL ブックのマンガ分野といえます。マンガは絵でストーリーを展開し、キャラクターが魅力的で、わかりやすいと思われていますが、マンガ独特の表現である漫符やコマ割り、吹き出し等がわからない知的障害の人もあります。多くの方が楽しめるようにマンガ独特の表現を簡素化するなどの工夫をして描かれたマンガをLL マンガと言います。

LL マンガを紹介し、解説した本として『LL マンガへの招待』吉村和真・藤澤和子・都留泰作編著、樹村房 2019 年が出版されています。LL マンガの描き方については、まだ試行錯誤の途中です。今後、いろいろな作品の発表が待たれています。

